

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」

平成30年度

法人名	立石薬品株式会社	代表者	立石 美井	法人・事業所の特徴	事業所の建物とユニフォームはピンク色で元気な事業所です。利用者様一人一人に合った対応を心掛け、利用者様の言葉にならない気持ちを受け入れられる努力をし、ご家族様との関係を大切にしながら、自宅での生活が少しでも長く続けられるようお手伝いさせて頂いています。				
事業所名	まつおかのまんてん星	管理者	西村 温美						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	4人	0人	1人	1人	0人	5人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A.自己評価の確認	・事業所として利用者様のどのような情報が必要かを検討し、家族に伝える努力をしていく。	・新規の方の自宅での生活や、泊まりを利用される方は自宅での夜間の様子を、送迎時にご家族と会う為、話を聞く努力をしている。	・自己評価をする事で、スタッフの皆様の意識改善になっていると思う。達成可能な内容であると思えるが“気配り”というファジー（あいまい）な内容の為、スタッフ間のコミュニケーションもポイントだと想える。	・利用者様の様子を言葉で表現し記録し、ケアプランにそって出来ている事と出来ていない事を明確にしていく。
B.事業所のしつらえ・環境	・地域の方に事業所の存在を知って頂ける様な努力をし、新しいお客様にも親しみの持てるような事業所にしていきたい。	・昨年度、初めて四ツ家区会議に出席させて頂き、まつおかのまんてん星の説明とチラシを回覧させて頂いた。また新しいお客様や問合せには見学に来所して頂き、まんてん星がどんな事業所か説明させて頂いている。	・徐々に認知されています。	・相談者や見学者を随時受け入れ、初めての方でも事業所に入りやすい雰囲気作りをしていく。
C.事業所と地域のかかわり	・今後も地域の行事に参加出来る努力を引き続き行っていく。	・地域行事の参加はまだ少ないが、今後はもっともっと参加出来るようになり、地域とかかわりをもっていきたい。	・12/2四ツ家区防災訓練に参加して頂きました。ブースを設け車椅子椅子の操作方法、災害時の注意点など説明して頂き、地域の皆様の認知度は上がったと思います。またどんど焼き等も参加して頂き、地域との交流にも努力して頂き感謝申し上げます。	・引き続いで地元の方々に必要とされる事業所作りをし、介護の事で困ったら、まんてん星に連絡して頂けるように努力していく。
D.地域に出向いて本人の暮らしをささえれる仕組み	・スタッフ一人一人が情報を得る事を意識し、コミュニケーションを取る努力をする。	・日頃、利用されている中で、情報を得る努力をし、スタッフ間で共有している。地域交流はかけ離れないよう、地道に努力していく。	・利用者により対応が違ったりすることで、大変な努力が必要だと思いますが、地域の行事も利用して頂き、外へ出る事をすすめられればと思います。	・地域の行事に積極的に参加出るように計画を立て参加していく。
E.運営推進会議を活かした取組み	・利用者の様子やサービス内容の紹介・特色等をアピールし地域住民から意見を頂き事業所の運営に活用できるように会議を行っていく。	・地域の方々に運営推進会議に出席して頂く事で、活動報告をしながら利用者様の様子を伝えまんてん星を知って頂いている。	・運営会議では多くの活動状況を写真などでわかりやすく報告して頂いています。	・小規模多機能型居宅介護事業所の仕組みを知って頂き、その中でまつおかのまんてん星をアピールし地域の困っている方の相談、対応をする。

F.事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none">地域の防災訓練に参加し事業所を認識して頂き、災害時に協力を得られるような関係を構築していきたい。	<ul style="list-style-type: none">12月の四ツ家区防災訓練に参加し、車椅子の使い方の説明をさせて頂き、地域の方々と交流が出来て良かった。	<ul style="list-style-type: none">四ツ家区自主防災会会长に事業所の防災訓練に参加して頂き、相互の助け合い関係を深めるように出来たらいいと思う。	<ul style="list-style-type: none">今後も四ツ家区防災訓練に参加させて頂き、災害時に協力して頂けるような関係作りをしていく。
---------------	--	---	--	--